

車山チャレンジスキーキャンプ

- 開催日 2017年12月28日～30日
- 会場 車山高原スキー場（長野県茅野市）
車山ハイランドホテル（長野県茅野市）
- ディレクター名 稲松謙太郎（ねずみ）
- キャンプのねらい

- 「やってみること」で、親元を離れた生活の中での「できた」や仲間と一緒に「頑張ってみる気持ち」を育む。
- 「冬の自然」を肌で感じる。感性を言葉にしてみる。
- 「楽しい」を具現化し、具体的に持ち帰る。

■同行スタッフ（キャンプネーム）

ねぶた、まるこ、じもん、リオ、メロス、いちむー、いあーごG、しばていん、きょん、のんちゃん、みり、ザビ

■活動内容

<1日目>
集合
車山高原到着
板あわせ
レベルチェックレッスン
スキークイズ大会

<2日目>
朝のつどい
スキーレッスン（午前、午後）
大レクリエーション大会

<3日目>
スキーレッスン
車山高原出発
解散



1日目のスキーレッスン。「はじめて」や「久しぶり」でドキドキ！



経験者たちは久々の雪の上で満面の笑み。「スキーだいすきー！」



食事は毎回、盛りだくさん。「いっぱい食べてスキー頑張ろう！」



1日目の夜は「スキークイズ大会」いろんな問題で楽しみました。



2日目のスキーレッスン。「だんだん滑れるようになってきたぞ。」



経験者たちは午前中からリフトに乗ってたくさん滑りました。



天気も最高！「こんな天気ならずっとスキーをしたい！」



遠くの景色もばっちり見えました。



最上級チームはスキー場でいちばん高い場所まで行きました。



上手くなった実感があると自然と笑顔が溢れます。



2日目の夜は大レク大会。疲れ知らずの子どもたちと大盛り上がり。



3日目もスキーを楽しむぞー！3日間とも最高の天気恵まれました。



楽しく+たくさん=上手になる。スキー(好き)こそもの上手なれ。



安心していろんなコースを滑ることができるようになりました。



リフトもお手の物。乗りながらゲレンデの仲間に向かって「おーい」



「トレーン」も美しい！曲がりたいところで曲がれる証拠です。



「イエーイ！」カメラ目線でピースをする余裕もあります。



今回スキーデビューのチームも3日間たくさん滑って上達しました。

■キャンプのエピソード

好きこそもの上手なれ

「スキー！」「だいすきー!!」車山チャレンジスキーの合言葉です。初心者のスキーは、準備や転んで起き上がること、階段登行(カニ歩き)で移動することに時間がかかります。ゆえに本来の「スキーを楽しむ」時間を長く取るのがむずかしいのが現実です。しかし、楽しめるような声をかけ、子どもたちがその気になると、スキー以外の時間が短くなり、スキーをする時間がより取れるようになります。「好きこそもの…」とはよく言ったもので、子どもたちのやる気と集中力が上がることで、質の高い「スキー」が楽しめるということです。今回の車山チャレンジスキーは、まさにこの言葉が当てはまる2泊3日でした。子どもたちもスタッフもたくさん滑り、いっぱいリフトに乗って、めいっぱい楽しんだスキーキャンプでした。これからもそんなスキーキャンプを実施してまいります。

感覚を言葉にするということ

スキーだけに限らず、キャンプという自然体験活動の中には、言葉ではなかなか言い表せない「感覚」が存在します。今回のキャンプで例えるなら「冬の朝の空気」「スキー場の雪面の状態」「スキーでブレーキを掛けるときに足の裏に伝わってくる感触」などです。大抵は、擬音を使って表すのですが、子どもたちの表現する擬音は、とても個性的です。その使っている擬音は、その子が感じたものなので、間違いはひとつもないのですが、スタッフからすると不思議な言葉が聞こえるのでクスッと笑ってしまうこともしばしばです。加えて、子ども同士では、まったく違う擬音を使って話しているのに会話が成立してしまうことも不思議でおもしろい一面です。この感覚を言葉にするということは、とらえているものを他人にどう伝えるかということ、大人になるとも難しいと感じるのですが、子どもたちの能力がキラリと光る一瞬で、とても素敵だなと今回も感心しっぱなしでした。